

第17回 【九州】内部監査実務研究会

～次なる内部監査のステージへ～

日本企業の内部監査部門は、長い間、先輩方の築かれた内部監査の仕組みの上に真摯に改良を重ねて、次の世代にバトンをつないできました。日本では各社独自の内部監査実務が生まれ、まさにガラパゴス状態にあると言えます。他方、世界では、内部監査人は専門性を磨き転職し切磋琢磨した結果、世界共通の優れた内部監査実務が生まれています。内部監査人協会(IIA)はこの優れた内部監査実務をもとに、ガバナンスから個々の監査に至る幅広い内部監査の基準を公表しています。

本研究会では、基調講演で基準の背景にある世界共通の内部監査実務を、日本の風土環境に合わせてわかりやすく解説します。そして、企業の内部監査の責任者の方々から、実践事例や抱える課題をご報告いただき、参加者の皆様に共有いたします。

今回は、基準の優れた内部監査実務をもとに、中でも経営にとって有効なテーマ(特定的话题)監査に焦点をあて、事例報告の皆様、参加者の方々とディスカッションして、参加企業が次なる内部監査のステージへ進むにはどのようにしたらよいかを一緒に考えます。相互研鑽・経験交流の機会として、多数の方々にご参加いただきますようご案内申し上げます。

と き

2026年 1月23日(金) 13:30~18:00

と ころ

電気ビル共創館 3階カンファレンスA

福岡市中央区渡辺通2丁目1-82

基調講演

内部監査品質評価ネットワーク 代表 森 田 卓 哉 氏

事例報告

西 日 本 鉄 道 株 式 会 社
日 本 タ ン グ ス テ ン 株 式 会 社
ヤマエグループホールディングス株式会社

対 象

内部監査部門の管理者、スタッフ
監査役、取締役
企画、経理、総務部門の管理者、スタッフ

公益財団法人 九州生産性本部

ス ケ ジ ュ ー ル

13 : 30	開会挨拶 九州電力株式会社 経営監査室長 衛 藤 太 朗 氏 (本研究会 幹事)
13 : 40) 14 : 45	基調講演 「定例監査(準拠性・ローテーション)からテーマ監査へのアプローチ」 ～世界の経営者は内部監査に何を期待し、内部監査は経営者に何を求めるか～ 内部監査品質評価ネットワーク 代表 森 田 卓 哉 氏 (元 日本内部監査協会 品質評価推進室長)
休 憩	
15 : 00) 16 : 00	事例報告 「当社の内部監査の特徴と、定例監査とテーマ監査への取り組み」 3社の内部監査責任者に、(1)年間監査計画(定例監査やテーマ監査)の策定方法、(2)年間監査計画策定への社長、取締役会、監査役会・監査等委員会などの関与、(3)定例監査とテーマ監査の個々の監査の計画、実施、報告、フォローアップの流れ、(4)個々の監査の実施段階の「発見事項と改善のための提言」の監査対象部門長とのコミュニケーション、(5)社長、取締役会、監査役会・監査等委員会などへの監査報告の方法やタイミング、監査対象部門への説明やタイミング、について報告いただきます。 1. 西 日 本 鉄 道 株 式 会 社 監査部長 馬 場 宏 明 氏 (本研究会 幹事) 2. 日 本 タ ン グ ス テ ン 株 式 会 社 内部監査室長 井 上 耕 一 氏 3. ヤマエグループホールディングス株式会社 監査部長 藤 本 幸 成 氏
16 : 00) 17 : 00	展開討議 「経営に有効なテーマ監査」 事例発表いただいた3社の定例監査とテーマ監査への取り組みをもとに、(1)年間監査計画の策定段階の工夫、(2)社長、取締役会、監査役会・監査等委員会などの要望を年間監査計画策定に反映させる工夫、(3)定例監査やテーマ監査の工夫、(4)「発見事項と改善のための提言」の監査対象部門長とのコミュニケーションの工夫、(5)社長、取締役会、監査役会・監査等委員会などへの監査報告の工夫など、の視点で討議いただきます。 司 会 西 部 ガ ス ホ ー ル デ ィ ン グ ス 株 式 会 社 監査部長 尾 崎 秀 樹 氏 (本研究会 幹事)
休 憩	
17 : 10) 18 : 00	参加者経験交流会 ～登壇者を囲んでの名刺交換・情報交換会～ 挨 拶 九 州 旅 客 鉄 道 株 式 会 社 監査部長 川 地 修 司 氏 (本研究会 幹事) 基調講演の講師、実践事例を報告いただいた方々にご参加の皆様で名刺交換・情報交換していただきながら、交流懇親を深めていただきます。

講師紹介

内部監査品質評価ネットワーク 代表 森田卓哉氏

(元 日本内部監査協会 品質評価推進室長)

三井住友銀行内部監査部門にて国内海外の内部監査実務とマネジメントを経験。公認内部監査人(CIA)資格を取得。内部監査人協会(IIA)のCIAフォーラム研究会で品質評価を研究。2007年、IIAの外部評価チームメンバーとして米国で外部評価の実務を学ぶ。日本内部監査協会において、日本の風土・制度・環境に合わせた『内部監査品質評価ガイド』の発行を進め、IIAの品質評価委員会で承認を得る。品質評価推進室長として、金融、製造、商業、公共機関他、多数の内部監査部門に、グローバルレベルの外部評価を日本の風土・制度・環境に合わせて提供。2019年までの12年間、IIA国際本部の品質評価委員会、専門職課題委員会、金融機関ガイダンス委員会の委員として活動。2019年、内部監査の個人事務所「内部監査品質評価ネットワーク」を設立。

保有資格：CIA(公認内部監査人)、CISA(公認情報システム監査人)、

CISM(公認情報セキュリティマネジャー)、システム監査技術者

九州内部監査実務研究会 幹事(企業名50音順)

九州電力株式会社	経営監査室長	衛藤太朗氏
九州旅客鉄道株式会社	監査部長	川地修司氏
西部ガスホールディングス株式会社	監査部長	尾崎秀樹氏
西日本鉄道株式会社	監査部長	馬場宏明氏

開催要領

と き：2026年1月23日(金) 13:30~18:00

と ころ：電気ビル共創館 3階カンファレンスA

福岡市中央区渡辺通2丁目1-82

対 象：内部監査部門の管理者、スタッフ

監査役、取締役

企画、経理、総務部門の管理者、スタッフ

参 加 費：賛助会員企業 29,700円(内消費税2,700円)

(1名につき) 未会員企業 41,800円(内消費税3,800円)

申込要領

- WEB上の参加申込フォームに必要事項をご入力の上、WEBにてお申込ください。
- WEBにて申込後、「受講証」と「参加費請求書」を出力してください。
- 参加費は銀行振込で、開催前日までにご納入ください。振込手数料は振込人にてご負担願います。
- お申込の方に万一お差し支えの時は、代理の方の出席をお願いいたします。
- 開催前日、当日のキャンセルはキャンセル料を申し受けます。詳細につきましては、ホームページをご参照ください。

◇ 本セミナーをWEB検索する場合は **九州生産性 内部監査実務** で検索してください。

当本部事業の案内は会員企業・労組のほか、一般の企業・労組にもお送りしております。今後、このような経営・教育等の講座案内が一切不要な場合は、下記に記載の担当者または当本部お客様相談窓口までご連絡ください。

会場略図



電気ビル共創館3階 カンファレンスA

福岡市中央区渡辺通2丁目1-82



【地下鉄】(七隈線) 渡辺通駅下車(電気ビル本館B2Fへ直結)

【西鉄】西鉄薬院駅より徒歩7分

【バス】・JR博多駅バス停B番より発車する全て(薬院・六本松方面)に乗車可能(10分)→渡辺通1丁目G降車すぐ

・JR博多駅バス停A番より300番台(福岡PayPayドーム・マリノアシティ方面)、BRT(接続バス)もしくはK(九大伊都キャンパス方面)に乗車(10分)→渡辺通1丁目電気ビル共創館前降車すぐ

・天神大丸前バス停4Cより乗車(5分)→渡辺通1丁目電気ビル共創館前降車すぐ

【タクシー】天神より5分、JR博多駅より7分、福岡空港より25分

公益財団法人 九州生産性本部 担当：伊藤、金子、水口 No.271

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2丁目1-82 電気ビル共創館6階

TEL/092-771-6481 FAX/092-771-6490 (<https://qpc.or.jp/>)

※個人情報の取扱いについて

- 1.ご提供頂いた個人情報は、当本部の個人情報保護方針に基づき、安全かつ適切に管理致します。
- 2.個人情報は、本研究会の申込に関する事務手続きや講座運営のために使用します。ただし、当本部からのセミナーや講演会等の開催案内のためにも使用場合があります。
- 3.個人情報は上記目的以外に第三者に開示、提供することはありません。個人情報の取扱いを含む業務を他社に委託する際は、個人情報が漏えい・流出することのないよう委託先に対して適切な契約や指導、管理を行います。
- 4.個人情報の開示、訂正、削除については、上記担当または当本部のお客様相談窓口にご相談ください。

お申込みはWEBから！

- 当本部ホームページ (<https://qpc.or.jp>) のトップ画面左側の「▶現在受付中のセミナー」画面からインターネットでお申込ください。



受付中のセミナーは開催日順に並んでいます。
ご希望のセミナーを選択いただき、必要事項を入力の上、お申込ください。

＜申込手順の流れ＞

当本部ホームページ

■○○○セミナー

お申込みはこちら

各セミナー詳細ページ

■セミナー受付画面

OK

申込画面に入力

「申込受付メール」が自動配信で届きます

※申込確定ではありません

当方で空席状況、
参加費等を確認後、受付確定

「申込確定メール」が届きます

※請求書と参加証のURLを記載

「請求書」を出力し、振込手続きをお願いします

「参加証」を出力し、研修当日ご持参ください

※WEBからセミナー予約申込をいただいた場合は、「申込受付メール」に正式手続用URLを記載しますので、4週間前までに参加者の登録をお願いします。予約枠を超える人数になった場合は、空席確認が必要となりますので、予約枠人数分は専用URLから、増えた人数分については別途申込手続きをお願いします。

※インターネットでのお申込ができない場合は、FAXでも受け付けております。必要事項を記入の上、FAXにてお送りください。

※キャンセル料につきましては、ホームページでご確認ください。

※ご不明な点がございましたら、ホームページのQ&Aを参照いただくか、電話にてお問合せください。